

【人工透析患者の実態】

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、55.1%が生活習慣を起因とするものであり、**その51.9%が「2型糖尿病を起因」として透析となる「糖尿病性腎症」であることが判明。**

【透析患者の起因】

透析に至った起因	透析患者数 (人)	割合 ※ (%)	生活習慣を起因とする疾病	食事療法等指導することで重症化を遅延できる可能性が高い疾病
① 糖尿病性腎症 I型糖尿病	4	0.6%	-	-
② 糖尿病性腎症 II型糖尿病	348	51.9%	●	●
③ 糸球体腎炎 IgA腎症	2	0.3%	-	-
④ 糸球体腎炎 その他	30	4.5%	-	●
⑤ 腎硬化症 本態性高血圧	21	3.1%	●	●
⑥ 腎硬化症 その他	3	0.4%	-	-
⑦ 痛風腎	0	0.0%	●	●
⑧ 起因が特定できない患者 ※	262	39.1%	-	-
透析患者合計	670			

【参考】協会けんぽ熊本支部透析患者数(H28.12.31時点)

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	629
腹膜透析のみ	22
血液透析及び腹膜透析	19
透析患者合計	670

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している加入者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

※⑧起因が特定できない患者…①～⑦の傷病名組み合わせに該当しない患者。⑧起因が特定できない患者262人のうち高血圧症が確認できる患者は217人、高血圧性心疾患が確認できる患者は5人、痛風が確認できる患者は9人。高血圧症、高血圧性心疾患、痛風のいずれも確認できない患者は40人。複数の疾病を持つ患者がいるため、合計人数は一致しない。

* 算出根拠：協会けんぽ保有のレセプトデータ